



KARIBIB の回想



2023 年度 1 次隊/数学教育/渡辺 崇人

2023 年 9 月 23 日 Vol.1

はじめまして。JICA 海外協力隊 2023 年度 1 次隊としてナミビア共和国に派遣されている渡辺 崇人(わたなべ たかひと)と申します。現在、首都 Windhoek (ウイントフック) から車で 2 時間程北西にある Karibib (カリビブと読みます。この通信のタイトルです。下図参照。)という町の Junior Secondary School (日本の中学・高校に相当) で数学と ICT の担当教員を務めています。



●この通信の目的●

おそらくですが、日本では Karibib という町はおろか、ナミビアという国がどこにあり、どんな国なのかということをご存じない方の方が多いのではないかと思います。実際、自分も恥ずかしながら派遣国が決定するまでどこにあるのかさえ分からず、ネットで色々調べた結果、観光地はヒットするもののそれ以外はよく分からずじまい、載っていても過去の情報だったため現在もその通りなのか真偽のほどまでは確認できませんでした。そのため、この通信ではナミビアのことはもちろん、その中でも Karibib という町と自分の仕事内容について主にネットには載っていない情報の発信を目的として投稿させていただきます ^^

今回は、①ナミビアがどこにあるのか、②日本と比較するとどうい国なのかについて簡単に紹介させていただきます。

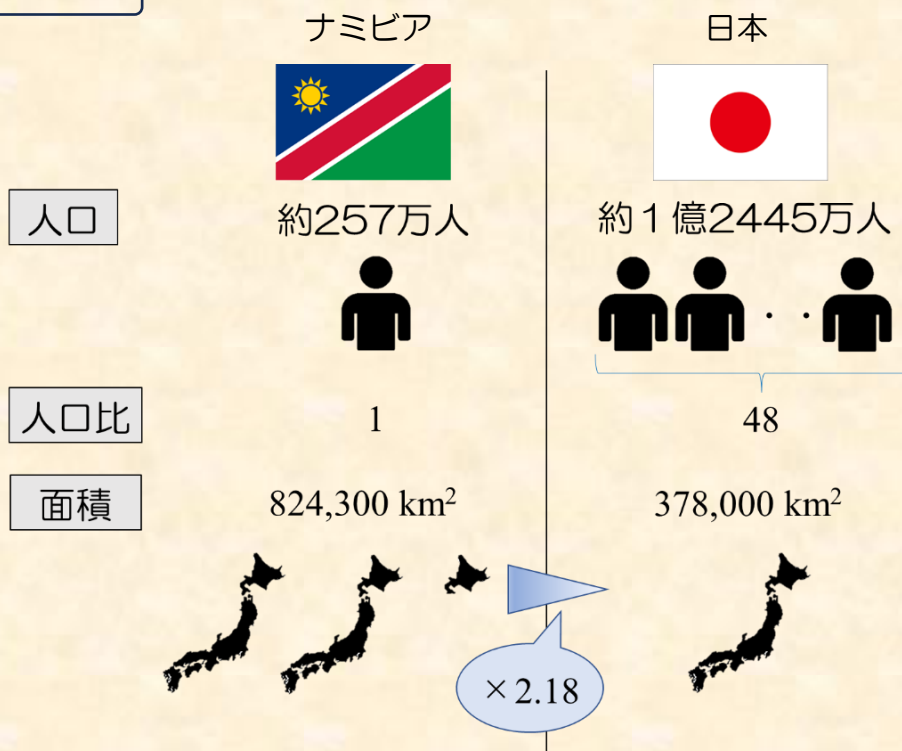
① ナミビアってどこにあるの？

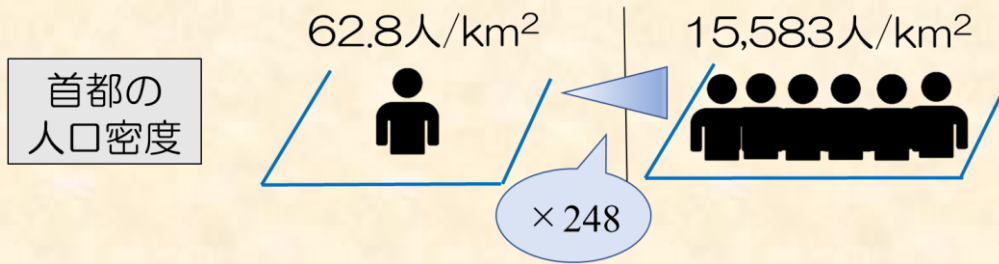


地図の通り、ナミビアはアフリカの南西部に位置し、西側は大西洋に面しています。日本との直線距離は約 14,100km (JapanAB.com より)、時差は7時間あります (日本の方が早いです)。そのため、電話する際は時間を考える必要がありますね。日本からの行き方ですが、残念ながら直行便がなく、2023 年度1次隊はトランジットとして一度ドイツのフランクフルト空港を経由しました。

② ナミビア vs 日本

～日本と比較して捉えるナミビアの特徴～





人口比：ナミビアを1とすると日本は **48** ほど
 面積：ナミビアは日本の約 **2.2** 倍
 首都の人口密度：東京は Windhoek の約 **248** 倍

(『外務省 ナミビア基礎データ』、『総務省統計局』、『東京都総務省統計局』よりそれぞれ作成)

ということで、行ったことがある人は東京の人口の多さは十分にご存知だと思いますが、ナミビアと比較して狭い範囲に人が集中しているため、よりその多さが際立っているのかもしれないですね。

ナミビアはアフリカで1番、世界で2番目に人口密度の低い国です(国土全土に対する人口密度は3人/km²)。これは、国土の大半が人工物の「何もない」土地から成り立っているからです。実は国名の“ナミビア”とは現地語で「何もない」という意味なのだそう。その国名通りの人口密度ですが、その一方で日本では見ることのできない広大な自然を目の当たりにすることができます。世界最古の砂漠であるナミブ砂漠はその代表例ですね。いつかの投稿でそれら自然についても紹介出来たらと思います。

また地形とは少し話が離れますが、ナミビアが南アフリカから独立した際に制定された憲法では『積極的差別是正措置(アファーマティブ・アクション)』が採用されました。簡単に言うと人種や性別、出生地といったその人の力ではどうにも出来ない立場からくる格差をできるだけなくそうという考え方・試みのことです。この影響もあってか女性の社会進出が積極的に行われていることもこの国の1つの特徴だと言えます。現に自分の配属先も男女比は1：7です。ジェンダーへの取り組みは世界でも先進的だと言えますね。

ちょこっと余談

このやや特徴的なナミビアの地形ですが、これは右手を使って

① 親指を水平に保ち、 ② 人差し指は第2関節で曲げ、 ③ 小指も曲げる
 ことで右の写真のように非常に似た形を作ることができます。
 これは、活動を終えられて既に帰国された先輩隊員から直接聞きました。写真を撮る際、ぜひやってみてください！



ここで、最も特徴的な東に約450km飛び出ているカプリビ回廊(親指の部分)ですがなぜここだけ不規則なんだろうと思いませんか？

実はこれは歴史と深〜い関りがあります。興味がある方は調べてみてください。

次回：生活して初めて分かったナミビアの生活様式について、日本と比較して紹介します！